



## <米山奨学>

鈴木清会員、井上勇会員から頂きました。

## <ニコニコ・財団・米山委員会>

	今回		累計	
ニコニコ	32件	32,000円	1,120件	1,231,054円
財団	0件	0円	38件	450,040円
ベネファクター	0件	0円	2件	200,000円
米山	2件	40,000円	40件	578,700円

## 本日のプログラム

### <本年を省みて>

小塚会長

幹事をやらずに会長になったので、ロータリーの細かいことがわからず非常に心配してスタートしました。当初はRI会長のテーマで素直に取り組んでまいりました。スタート時の会長方針にも書きましたが、無理矢理社会奉仕、貢献と大上段に構えようまういかないような気がしましたので、「必然的にそうなることを目指していこう」という指針を掲げてスタートしています。常々、ロータリーでは会員増強と言われますが、会長幹事をやると実感します。ある程度の規模がなければ活動を継続維持できないことも確かです。7月1日に小島会員、親松会員、山内会員が入会され、実質上39名でのスタートでした。その後、内藤会員、吉田会員がそれぞれの理由で残念ながら退会。その後、川崎信用金庫の直井会員が入会。鈴木清会員の推薦で日本映画大学の寺川会員が入会。次年度は、安藤美恵子さんが入会されますので、待望の40名でスタートできることになりました。その中で組織として入会している3名の異動がありました。川崎信用金庫の直井会員から浅野会員、横浜銀行の浅沼会員から石坂会員、SMBC日興証券の鶴丸会員から鶴飼会員へと新しいメンバーの入替がありました。非常にうまく伝達していただいているようで、これからもうまくクラブを活性化させていただけると思います。事務局でも35年ロータリーを支えてくださった太田さんから新盛さんになりましたが、とてもうまくバトンタッチができたと感じます。ほかに会員の動きとしては、奥様が亡くなられたのはとても残念でしたが、関山さんご自身は無事に復帰されました。菅会員の病院に入院され、ロータリーの仲間にお医者さんがいることに心強く感じました。また、碓井会員が新年会の際に

は、心臓の手術で欠席されていたにもかかわらず、次の例会にはご出席されていたことにはとても驚かされました。

本年のテーマとして、「永続性」「規模」を掲げました。「永続性」は会の存続の為に永遠のテーマでもあります。様々な事が言われますが、基本は楽しいことが大切だと思います。その上で、親睦と奉仕のバランスをとりながら運営していくことが重要です。「規模」の面では、40~50人がこれまでの百合丘RCの活動を支えるのに必要な人数だと思います。40人を割ればこれまでの活動を維持できなくなり、50人を超えるとおそらく別の奉仕を考えなければならなくなると思われます。しばらくは40~50人で、必死に仲間作り居場所作りも含めてクラブにもっていかれたらと思います。その中で、年度の途中で2つの提案をしました。一つは阿久澤会員が行っているラオスでの歯科援助を通してラオスへの支援です。もう一つは現代版の炊出し体験です。佐藤会員がこの難しい課題に取り組んでいただき、施行することができました。できれば来年度も継続していただきたいと思っています。よろしくお願いします。個人的に印象に残ったのは、やはり百合丘は会員卓話がとても深く素晴らしいということです。赤本会員、菅会員、浅沼会員、井上久会員、小島会員、鈴木清会員にお話をいただきました。それぞれ素晴らしく、再度十分な時間を取って依頼したいです。招聘卓話より会員卓話のほうが、中身が濃かったのではないのでしょうか。また、それぞれの会員が個々のもつ技術を生かして、想像以上に素晴らしい運営ができたことに感謝します。中村幹事は、期待といい意味で違っていて、とてもよく「幹事」として動いてくれました。感謝しております。どんなに二人が忙しくても、会長幹事のチームワークでどうにか成り立つのだと感じました。

次年度、井上勇会長・井上久幹事。やってみたら、どうということはなく流れて行きます。色々なテーマを作ってしまったのですが、井上流にアレンジ、展開し、さらにいいクラブにしていってください。

